

## 10月31日（月）朝礼 校長講話

今日はみなさんに見てもらいたいものがあり、スクリーンを用意しました。

3138万円。これは何だと思いませんか。「円」がついているので、何かの金額ですよ。

4043万円。

5000万円。

9520万円。

難しいですよ。

では、このヒントはどうでしょう。「高校生」

答えを言いますね。

これは、夜、男子中学生がライトをつけずに自転車で走っていて、向こうから歩いてきた75歳の女性と正面衝突し、女性には重大な障害が残った事故で、その高校生の保護者が支払った賠償金の額です。

3043万円は、男子高校生が朝、赤信号で交差点の横断歩道を走っていて、62歳の男性と衝突し、男性は頭を強く打ち、13日後に死亡しました。その賠償額が3043万円です。

5000万円は、夜、女子高校生が携帯電話を操作しながら自転車の電気をつけずに走っていて、前を歩いていた57歳の女性に気づかず衝突し、女性には重大な障害が残ったそうです。その賠償額が5000万円。

9520万円は、小学生です。小学生が自転車で62歳の女性に正面衝突して意識不明の重体を負わせ、これだけの賠償金を支払いました。

このように、ここ数年、自転車の事故、特に歩行者にぶつかってけがを負わせるという事故が多くなっています。たとえそれが中学生でも、この資料のように、相手が受けた被害に応じて賠償金を支払わなければなりません。当然、みなさんにはその力がないので家の人払うことになります。

ここまで大きな事故ではありませんが、弥富中にも、「今日、おたくの学校の生徒の運転している自転車がぶつかった」という電話が時々かかってきます。当然、けがの様子などを聞きその時の状況をうかがいます。すると、ほとんどが「自転車が道いっぱい広がっていて」と言われます。

そこで、みなさんの登下校の様子を見てみました。

10月24日の登校の様子です。いつも立っている学校の東側の交差点で、北から来る子たちを撮ったものです。

遠くにひとかたまりの集団が見えます。

それが徐々に近づいてきます。

まだかたまりのままです。

まだです。

神社を通り過ぎました。でも、まだ歩道いっぱい広がっていることが分かります。これでは、北向きに、弥富駅の方へ行こうとする人は、怖くて、危なくて歩道を通ることができません。

そんな時ばかりではありません。これはその5日まえの19日に撮ったものです。中間テストの二日前ですから、3学年が同じ時間帯に登校する日です。

自転車に乗った集団が、神社の横を固まって通過します。

しかし、先生の姿が目に入ったこともあり、車道側に寄り始めました。先生は、朝、この交差点に立つとき、あえて、歩道の中央に立つようにしています。そうすれば、先生の姿が目に入ると、それを避けようと自然と車道側に寄り、こうやって歩道の半分が空くからです。

これなら、ぶつかることもなく、スムーズにすれ違うことができます。

皆さんがもし、北へ向かう人だったら、どちらの中学生がうれしいですか。

歩道は歩行者のためのものです。

自転車は、特別にそこを使わせてもらっているのです。

そのことを忘れず、

ゆずり合って、思いやりの心をもってすれ違える、そんな道にしませんか。